

## 【様式1：建物被災状況チェックシート】

- ★ 避難所を開設するに当たって、避難所となる施設の安全性を確認します。
- ★ 鉄骨造建築物については、判断が難しいので、市避難所担当職員や施設管理者の到着を待ってください。
- ★ 一見して危険と判断できる場合は、市災害対策本部へ連絡し、他の避難所への移動等、必要な対応を検討します。

## (手順)

- 1 市避難所担当職員や施設管理者がいない場合で、迅速に施設内への避難が必要な場合には、委員会のメンバー（その場に震災建築物応急危険度判定士や建築士がいる場合には助言を受けて行います）が2人以上で、危険箇所に注意しながら、このチェックシートを使って、目視による点検を行います。
- 2 質問1から順番に点検を行い、質問1～7（外部の状況）までで、Ⅱ又はⅢと判断された場合は、建物内に入ることはせず、質問8～13以降の内部の状況については点検する必要はありません。
- 3 危険と認められる場所については、張り紙をするなどして立入禁止とします。
- 4 このチェックシートの質問項目に関わらず、少しでも建物の状況に不安がある場合は、市災害対策本部へ連絡し、応急危険度判定士による判定を待ちます。

避難所名

点検実施日時 月 日 時 分

点検実施者名

次の質問の該当するところに○をつけてください。

質 問		該 当 項 目	
1	隣接する建物が傾き、避難所の建物に倒れ込む危険性がありますか？	I	いいえ
		II	傾いている感じがする
		III	倒れ込みそうである
2	建物周辺に地すべり、がけくずれ、地割れ、噴砂・液状化、地盤沈下などが生じましたか？	I	いいえ
		II	生じた
		III	ひどく生じた
3	建物の基礎が壊れましたか？	I	いいえ
		II	壊れたところがある
		III	ひどく壊れた
4	建物が傾斜しましたか？	I	いいえ
		II	傾斜したような感じがする
		III	明らかに傾斜した
5	外壁材が落下しましたか？ 又は外壁材に亀裂が生じましたか？	I	いいえ
		II	落下している又は大きな亀裂がある
		III	落下している
6	屋根がわらが落下しましたか？	I	いいえ
		II	ずれた
		III	落下した
7	窓ガラスが割れましたか？	I	いいえ
		II	数枚割れた、たくさん割れた (Ⅲの回答はありません)

質 問		該当項目	
8	床が壊れましたか？	I	いいえ
		II	少し傾いた、下がった
		III	大きく傾いた、下がった
9	柱が折れましたか？	I	いいえ
		II	割れを生じたものがある
		III	完全に折れたものがある
10	内部の壁が壊れましたか？	I	いいえ
		II	大きなひび割れや目透きが生じた
		III	壁土やボードが落下した
11	建具やドアが壊れましたか？	I	いいえ
		II	建具・ドアが動かない
		III	建具・ドアが壊れた
12	天井、照明器具が落下しましたか？	I	いいえ
		II	落下しかけている
		III	落下した
13 その他、目についた被害を記入してください。 (例：塀が倒れた、水・ガスがもれている、家具が倒れたなど)			
-----			
-----			
-----			

(手順)

5. 質問1～12を集計します。

I	II	III

6. 必要な対応をとります。

◎IIIの答えが一つでもある場合は、『危険』です。

施設内へは立ち入らず、市災害対策本部へ連絡し、他の避難所への移動等、必要な対応を検討します。

◎IIの答えが一つでもある場合は、『要注意』です。

施設内へは立ち入らず、市災害対策本部へ連絡し、専門家による応急的な補強を行う等、必要な措置を講じます。

◎Iのみの場合

危険箇所に注意し、施設を使用します。

★ 余震により被害が進んだと思われる場合は、再度チェックシートで被災状況を点検してください。

★ このチェックシートによる判断は、あくまで臨時的なものであり、市災害対策本部から派遣される応急危険度判定士による判定を受けてください。

(コンクリートブロック造、レンガ造等にも使用できます。)

- ★ 避難所を開設するに当たって、避難所となる施設の安全性を確認します。
- ★ 鉄骨造建築物については、判断が難しいので、市避難所担当職員や施設管理者の到着を待ってください。
- ★ 一見して危険と判断できる場合は、市災害対策本部へ連絡し、他の避難所への移動等、必要な対応を検討します。

(手順)

- 1 市避難所担当職員や施設管理者がいない場合で、迅速に施設内への避難が必要な場合には、委員会のメンバー（その場に震災建築物応急危険度判定士や建築士がいる場合には助言を受けて行います）が2人以上で、危険箇所を注意しながら、このチェックシートを使って、目視による点検を行います。
- 2 質問1から順番に点検を行い、質問1～7（外部の状況）までで、Ⅱ又はⅢと判断された場合は、建物内に入ることはせず、質問8～13以降の内部の状況については点検する必要はありません。
- 3 危険と認められる場所については、張り紙をするなどして立入禁止とします。
- 4 このチェックシートの質問項目に関わらず、少しでも建物の状況に不安がある場合は、市災害対策本部へ連絡し、応急危険度判定士による判定を待ちます。

避難所名

点検実施日時 月 日 時 分

点検実施者名

次の質問の該当するところに○をつけてください。

質 問		該 当 項 目	
1	隣接する建物が傾き、避難所の建物に倒れ込む危険性はありますか？	I	いいえ
		II	傾いている感じがする
		III	倒れ込みそうである
2	建物周辺に地すべり、がけくずれ、地割れ、噴砂・液状化などが生じたか？	I	いいえ
		II	生じた
		III	ひどく生じた
3	建物が沈下しましたか？あるいは、建物周囲の地面が沈下しましたか？	I	いいえ
		II	生じた
		III	ひどく生じた
4	建物が傾斜しましたか？	I	いいえ
		II	傾斜しているような感じがする
		III	明らかに傾斜した
5	外部の柱や壁にひび割れがありますか？	I	ない又は髪の毛程度のひび割れがある
		II	比較的大きなひび割れが入っている
		III	大きなひび割れが多数あり、鉄筋が見える
6	外壁タイル・モルタルなどが落下しましたか？	I	いいえ
		II	落下しかけている、落下している
			(Ⅲの回答はありません)

質 問		該当項目	
7	床が壊れましたか？	I	いいえ
		II	少し傾いている、下がっている
		III	大きく傾斜している、下がっている
8	内部のコンクリートの柱、壁にひび割れがありますか？	I	ない又は髪の毛程度のひび割れがある
		II	比較的大きなひび割れが入っている
		III	大きなひび割れが多数あり、鉄筋が見える
9	建具やドアが壊れましたか？	I	いいえ
		II	建具・ドアが動かない
		III	建具・ドアが壊れた
10	天井、照明器具が落下しましたか？	I	いいえ
		II	落下しかけている
		III	落下した
11 その他、目についた被害を記入してください。 (例：塀が傾いた、水・ガスがもれている、家具が倒れたなど)			
-----			
-----			
-----			

(手順)

5. 質問1～10を集計します。

I	II	III

6. 必要な対応をとります。

◎ IIIの答えが一つでもある場合は、『危険』です。

施設内へは立ち入らず、市災害対策本部へ連絡し、他の避難所への移動等、必要な対応を検討します。

◎ IIの答えが一つでもある場合は、『要注意』です。

施設内へは立ち入らず、市町村災害対策本部へ連絡し、専門家による応急的な補強を行う等、必要な措置を講じます。

◎ Iのみの場合

危険箇所に注意し、施設を使用します。

★ 余震により被害が進んだと思われる場合は、再度チェックシートで被災状況を点検してください。

★ このチェックシートによる判断はあくまで臨時的なものであり、市災害対策本部から派遣される応急危険度判定士による判定を受けてください。

【様式2：避難者受付簿】

避難所名

避難所

避難者受付簿

①入所年月日		年 月 日		②住 所	〒
③この避難所に避難した家族全員の氏名を記入してください。					
氏 名		年齢	性別	電話番号	( ) -
世帯主				④家屋の被害情報	全 壊 ・ 半 壊 ・ 一部損壊 断水・停電・ガス停止・電話不通
ご家族				⑤親族など連絡先	〒  ( ) -
				⑥避難情報	あなたの家族は全員避難していますか。 イ. 全員避難した。 ロ. まだ残っている。 →
			⑦安否情報	あなたの家族は全員連絡が取れましたか。 イ. 全員連絡がとれた。 ロ. まだ取れていない。 →	
⑧ご家族に、入れ歯や眼鏡の不備、病気などの特別な配慮を必要とする人がいるなど、注意点があつたらお書きください。					
⑨安否の問い合わせがあつた場合、住所及び氏名を答えてもよいですか? → はい・いいえ					
退所年月日					
転 出 先					
備 考 (この欄には記入しないで下さい。)					

※内容に変更がある場合は、速やかに被災者管理班に申し出て修正してください。

【様式3：避難所状況報告書（第1報）】

避難所状況報告書（第1報）

※ 第1報では、現段階で分かっている情報を速やかに報告してください。

避難所名	避難所	市災害対策本部 連絡先 FAX 23-4304 TEL 22-0420 市災害対策本部 受信者 氏名 _____
開設日時	月 日 時 分	
開設理由	東海地震警戒宣言 ・ 災害	
避難種別	勧告 ・ 指示 ・ 自主避難	

報告日時	月 日 時 分	報告者名	
避難所 受信手段	・ FAX 番号 _____ ・ 電話番号 _____ ・ 伝令のみ ・ その他 ( )		
避難者数	約 人	避難世帯数	約 世帯
建物安全確認	未実施 ・ 安全 ・ 要注意 ・ 危険		
人命救助	不用 ・ 必要 (約 人) ・ 不明		
付近の火災	なし ・ 延焼中 (約 件) ・ 大火の危険		
土砂崩れ	未発見 ・ 有り ・ 警戒中		
ライフライン	断水 ・ 停電 ・ ガス停止 ・ 電話不通		
道路状況	通行可 ・ 渋滞 ・ 片側通行 ・ 通行不可		
建物倒壊	ほとんどなし ・ あり (約 件) ・ 不明		
緊急を要する事項（具体的に箇条書き）			
参集した施設管理者			

【様式 4 : 避難所記録用紙】

## 避 難 所 記 録 用 紙

避難所名 \_\_\_\_\_ 避 難 所

記載者名			
記載日時	月	日	時 分
避難人数	約	人 (	時現在)
避難世帯数	約	世帯 (	時現在)
連 絡 事 項	総務班		
	被災者管理班		
	情報広報班		
	施設管理班		
	食料・物資班		
	救護班		
	衛生班		
	ボランティア班		
対処すべき事項、予見される事項等			

【様式5：外泊届用紙】

外 泊 届 用 紙

ふりがな 氏 名	
外 泊 期 間	月 日 ~ 月 日 (計 日間)
同 行 者	
緊急の場合の連絡先 (希望者のみ)	

【様式6：取材者用受付用紙】

取 材 者 用 受 付 用 紙

受付日時	月 日 時 分	退所日時	月 日 時 分
代表者	氏 名		所 属
	連絡先 (住所・電話)		
同行者	氏名		所属
	氏名		所属
	氏名		所属
取材目的	※オンエア・記者発表など		
特記事項		名刺添付	

お帰りの際にも、受付にお寄りください。

【様式7：郵便物等受取り帳】

郵便物等受取り帳

No. \_\_\_\_\_

避難所名 \_\_\_\_\_

避難所 \_\_\_\_\_

	受付月日	宛 名	郵便物等の種類	受取月日	受取人サイン
1	月 日		葉書・封書・小包 その他（ ）	月 日	
2	月 日		葉書・封書・小包 その他（ ）	月 日	
3	月 日		葉書・封書・小包 その他（ ）	月 日	
4	月 日		葉書・封書・小包 その他（ ）	月 日	
5	月 日		葉書・封書・小包 その他（ ）	月 日	
6	月 日		葉書・封書・小包 その他（ ）	月 日	
7	月 日		葉書・封書・小包 その他（ ）	月 日	
8	月 日		葉書・封書・小包 その他（ ）	月 日	
9	月 日		葉書・封書・小包 その他（ ）	月 日	
10	月 日		葉書・封書・小包 その他（ ）	月 日	
11	月 日		葉書・封書・小包 その他（ ）	月 日	
12	月 日		葉書・封書・小包 その他（ ）	月 日	
13	月 日		葉書・封書・小包 その他（ ）	月 日	
14	月 日		葉書・封書・小包 その他（ ）	月 日	

- ・ 被災者管理班の担当者は、「受付月日」～「郵便物等の種類」欄に記入します。

【様式 8 : 食糧依頼伝票】

食 料 依 頼 伝 票

避難 所 処 理 欄	依頼日時                    月            日            時            分				
	避難所名		避 難 所		
	所在地				
	担当者名				
	TEL				
	FAX				
	依 頼 数	避難者用		食（うち 軟らかい食事            食）	
在宅被災者用		食（うち 軟らかい食事            食）			
合計		食（うち 軟らかい食事            食）			
その他の依頼内容					
市 本 部 処 理 欄	受信日時                    月            日            時            分				
	市災害対策本部 担当者名				
	処理時刻                    月            日            時            分				
	配 送 数	避難者用		食（うち 軟らかい食事            食）	
		在宅被災者用		食（うち 軟らかい食事            食）	
		合計		食（うち 軟らかい食事            食）	
	発注業者				
	配送業者				
配送確認時間					



